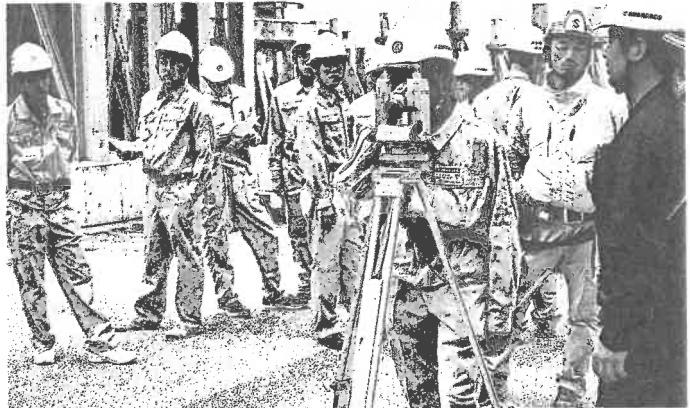


建設業界 実習で理解深め

学生・生徒 鉄筋工事など作業



角度を測る機器「トランシット」の使い方を教わる生徒ら＝三木市志染町三津田

三木でセミナー始まる

建設業に 관심がある高校生や専門学校生、大学生を対象にした「建設サマーセミナー」が20日、三木市志染町三津田の防災科学技術研究所・兵庫耐震工学研究所で始まった。27日まで、鉄筋工事や電気工事などの実践を通して、ものづくりへの理解を深める。この日は安全教育、建材についての説明や扱う際の注意点を聞いた後、早速実

習を開始。コンクリートを流し込む型枠を作るための測量を行い、角度を測る機器「トランシット」を使いながら基準となる位置を決め、「墨だし」の作業を行った。工務店で大工見習いとして働きながら相生学院高校加古川校（加古川市加古川町北在家）建築コースで学ぶ藤垣昂槐さん（2年）は「何でも幅広く覚えたなら力になると思って参加した。職人として一人前になりたい」と話した。

（大橋凜太郎）